



いのち輝く安心の未来社会をめざして

～よこみち府議 本会議一般質問に登壇！ 2024年11月～定例会～

横道府議は、12月9日、11月本会議中の一般質問に登壇。

①介護支援専門員研修に係る負担軽減について ②「認知症バリアフリー」社会の実現について ③女性の健康づくりの推進に向けた取組みについて ④小児・AYA世代がん対策、がん教育の進捗状況について ⑤淀川大堰閘門設置事業について を質問しました。その内①と②の質疑の概要について次のとおりご報告します。



詳しくはこちら

■介護支援専門員(略称:ケアマネ)研修にかかる負担軽減

Q 介護支援専門員(略称:ケアマネ)研修の時間的負担と経済的負担を軽減するための取組みについて問う。

A 国の検討会で研修時間数も含めた研修のあり方等を議論しているところ。本府ではEラーニング、オンライン研修を導入している。令和6年10月実務研修の受講費用の最大50%が国の教育訓練給付制度の活用により受講者に支給されることになり、利用促進している。その他の研修についても、来年4月からの講座指定に向けた申請を国に行っており審査中。

■「新しい認知症観」普及のための取組み

Q 認知症の方や家族が住み慣れた地域で、希望をもって安心して暮らしていくことができるという「新しい認知症観」の普及のためどのように取り組むのか。

A 令和6年9月に認知症当事者の方を「おおさか希望大使」として任命し、本人発信の活動を支援することなどにより「新しい認知症観」の普及に努める。



2024年9月定例会 健康福祉常任委員会で質疑

※9項目について質問したなかの1つ【保育人材の確保について】

Q 潜在保育士の就職支援や、子育て支援員養成について、大阪府ではどのような取組みを行っているのか、子育て支援課長に伺う。

A 平成27年度に府社会福祉協議会に保育士・保育所支援センターを設置し、いわゆる潜在保育士に対し支援を実施、就職につながった方は延べ1,763人。子育て支援員の養成は、市町村において実施しているが、府の支援により令和5年度には16市町・受講定員245名の合同研修を実施した。



詳しくはこちら

～健康福祉常任委員会【令和5年決算】～にて5項目問う！

- ① たばこ対策推進事業費について
- ② 訪問看護ネットワーク事業の推進について
- ③ 生活困窮者自立支援事業費について
- ④ 障がい者手帳交付事業費について
- ⑤ 障がい福祉サービス事業所等に対する指導

視察 城北立坑築造工事・淀川大堰閘門工事現場【令和6年11月18日】

■城北立坑築造工事



総合治水対策の一環で、完成後はシールドマシン発進基地となり鶴見調節池と都島調節池を掘進します。雨水排水をポンプなどの施設にたよる川より低い地域で、溢れそうな川や下水道管で処理しきれなくなった雨水を地下河川へ流し、大川へ排水することができるようになり浸水被害を軽減します。

■淀川大堰閘門工事現場



現在、淀川大堰は最大2mの水位差があるため閘門が完成し、いわば舟のエレベーターが実現することで、上下流の航行が可能となります。舟運による河辺のにぎわいと災害時の物資運搬にも活用できる効果あり2025年4月完成目指し工事中。

大阪府議会議員

よこみち 淳子

横道 じゅんこ



●プロフィール
公明党府本部青年局長
大阪市生まれ東淀川区育ち
市立東井高野小学校、市立井高野中学校、
府立山田高校、華頂短期大学、桃山学院大学卒
社会福祉士・介護支援専門員
ソーシャルワーカーとして22年勤務

日々の活動を発信しています！是非ご覧ください！



©YOKOMICHI_JUNKO